

Lib,

京都産業大学図書館報

v.27, no.1 (Apr.10, 2000)

ホームページに掲載中 <http://www.lib.kyoto-su.ac.jp/>



本学所蔵 賀茂葵祭行装ノ図より

特集 図書館はポータルサイト

図書館利用教育新時代始まる！	情報サービス課 1
資料もサービスも図書館におまかせ	運用課 2
オンライン目録 (EZ-CAT) で調べてみよう	目録情報課 3
すべてはメインカウンターから！	管理課 運用課 4

図書館利用教育 新時代始まる！

図書館では過去10年あまりにわたって新入生のための図書館ガイダンスを実施してきましたが、図書館利用能力を高めることがますます重要になったことから、今年度から「コンピュータ基礎実習」や「基礎情報処理」など必修科目等での授業として実施することになりました。

時期と内容

今年度、新入生利用教育は5月下旬から6月にかけて、コンピュータ基礎実習などのクラスごとに実施されます。

内容は、図書館の資料を探す道具であるオンライン目録 (EZ-CAT) の検索実習、雑誌の記事を探す道具である『雑誌記事索引』データベースの検索実習、図書館の設備やサービスについての全体的な説明、館内の案内などです。

効果

例年、実施直後のアンケートに対して、90%以上の受講生が「役に立つ」と回答しています。

何の役に立つかといえますと、85万冊にのぼる図書館の本や雑誌から必要なものを探す方法や、さまざまなサービスの内容がわかることです。とくにサービスの内容は高校の図書館や公共図書館とは大いに違います。説明を聞いて、「こんなことまでしてもらえるのか」と驚いていました。

このガイダンスをきっかけとして図書館へ足しげく通えば、将来、皆さんが情報利用の達人になること請け合いです。

それぞれの学部の該当科目は次のとおりです

経済学部・経営学部・法学部・外国語学部
：**コンピュータ基礎実習**

文化学部：**基礎情報処理**

理学部数学科：**代数学・幾何学演習**

理学部物理学科：**計算機基礎 A**

理学部計算機学科：**コンピュータリテラシー**

*工学部：水曜日午後（先生から指示があります）

資料もサービスも 図書館にお任せ

早いもので、人事異動で図書館に来て1年になります。学生時代、大学の図書館を一度も使った事が無い私にとって、図書館の勤務を命じられたときは一瞬慌てました。今まで図書館の課長は、全員図書館の専門家ばかりでしたし、常々言ってきたことですが、行きたくない課ワースト3にランクされていたところですし、まさか図書館勤務になるとは考えてもいませんでした。

Sigh***

もっとも私の学生時代は、図書館といっても、中学校や高校の図書室と変わらない粗末なものでした。ですから私の場合は、専ら府立資料館を利用していました。当時北山通りはまだ駐車禁止になっていませんでしたので、近くの喫茶店前に車を止めて、よく友達と集まっていました。その喫茶店を我々は、産大分校と呼んでいました。

そのころの学生に比べると今の学生はなんと幸せなことでしょう。この立派な図書館があって、これを利用しない手はないと思います。開館時間にしても、夜の8時まで開いているし、定期試験期間は休日も使えるし、研究個室やグループ学習室、パソコン室や音楽を聞いたり映画を見たりできるAV室と使い方はいろいろあると思います。もし自分の探している本がなければ買ってもらうこともできますし、また、ILL(図書館間相互利用)を利用して、他の図書館から取り寄せてもらうこともできます。そんなことも図書館勤務になるまでは、はっきりと知らなかったことです。ですから学生諸君も知らない人がいるかと思しますので紹介しておきます。

もう一つ図書館に来て驚いたことがあります。これも図書館に来るまでは想像もしていなかったことです。それは、返却されてきた図書に書き込みの多いこ

とです。私の常識からは考えの及ばないことです。私事ですが、資格を取るのが好きで、その時は関連の本を買って、書き込み貼り付けといろいろやりますが、試験に受ければ捨ててしまう本です。しかし、図書館の本は、一冊の本を何人もの人が何回も使うのが基本です。図書館の本が一回限りの使用であれば、図書館の運営は成り立っていきません。ところがマーカーペンやサインペン、ボールペンで書き込みがしてあるとその本は廃棄しなければなりません。図書館の本はご存知のように、原則として永久保存で、減価償却をしません。一度買った本は財産として残っていくものなのです。利用者の方々はその点をよく理解していただきたいと感じています。

(滝本 順三 / 運用課長)

← 新しく 39 タイトルの雑誌が入ります

今年度開設した文化学部のキャッチフレーズは「異文化への生活・習慣を比較・対象」「国家間・民族間の国際コミュニケーション」です。その開設に合わせて続々と新しい雑誌を購入しています。和・中文雑誌では「異文化間教育」「映像学」「比較文明」ほか21誌、洋雑誌では「Film quarterly」「Journal of women's history」「Communication theory」ほか18誌が入ってくる予定です。すべて2階雑誌コーナーでご覧いただけます。

タイトルは次のとおりです。

和雑誌

タイトル	請求記号
異文化間教育	3701AB
映像学	778KAD
学林	920GAE
近世文芸	910KAJ
上代文学	910ZAA
西南アジア研究	226SAA
説話文学研究	913SAA
大陸雑誌 (中国語)	222TAP
中古文学	910TAA
中国文学論集	920TAA
中世文学	910TAB
東方学	220TAI
集刊東洋学	220TAH
二十一世紀 (中国語)	302NAB
日本文学	910NAB
比較文明	205HAA
文学・語学	910BAC
萬葉	911MAA
民族学研究	389MAD
歴史地理学	202RAB

和歌文学研究	911WAA
--------	--------

洋雑誌

タイトル	請求記号
Journal of personality and social psychology	141JAA
Studies in the Renaissance (完結)	230SAA
Architectura	520AAA
Communication theory	361JAB
Contemporary sociology	360CAA
Economic botany	470EAA
Film quarterly	778FAA
International journal of comparative sociology	361IAA
International journal of politics, culture, and society	302IAA
Journal of American ethnic history	316JAA
Journal of communication	361JAA
Journal of cross-cultural gerontology	367JAA
Journal of cross-cultural psychology	143JAA
Journal of women's history	367JAB
Sociological methods & research	361SAB
Zeitschrift f r Soziologie	360ZAA
Communication education	809CAA
Journal of cross-cultural psychology (リプリント版、完結)	143JAA

➡ 研究個室を全面開放しました！

図書館には、4人以上のグループで利用できるグループ学習室、個人で学習するための研究個室、それに閲覧室があり、用途によって使い分けことができます。

研究個室はもともと教員・大学院生の利用をその対象にしていたのですが、学部学生の利用のために、2・3階の各階3室、計6室を利用に供してきました。しかし、最近の利用状況や要望を検討した結果、2階(214~218)3階(314~318)の10室全部を学部学生の皆さんに開放することになりました。大いに利用して下さい。

➡ 新聞バックナンバーが保存書庫に移りました

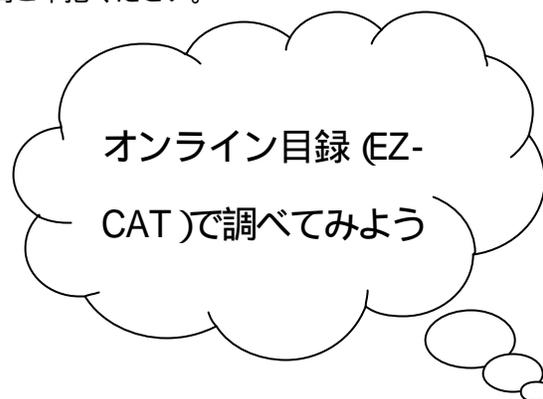
新聞の最新号は2階に配架していますが、そのバックナンバーは地下に数年間分保存しています。そして、さらにそれ以前のバックナンバーについては、市原書庫で保存し、資料としての利用がなくなった段階で、廃棄処分をしています。その種類は「人民日報」「中

央日報」「ASAHI WEEKLY」「JAPAN TIMES」等64紙もあります。

この新聞専用の保存書庫が今年度からもう1つ増えました。場所は神山寮奥の建物です。

➡ 開架図書(2・3階)の地下移動について

2・3階の図書が飽和状態のため、去年の夏から地下1階に図書を移動させています。現在までに約20,000冊の図書を地下に移動させましたが、今後、さらに分類番号360~399、420~499、600、京都コーナー、大型本等を移動させる予定です。この移動に伴って利用者にはご不便をおかけしますが、しばらくの間ご辛抱ください。



オンライン目録 (EZ - CAT : イージー - キャット) とは？

EZ - CATはインターネット上に公開されている京都産業大学図書館の蔵書目録です。いつでもだれでもどこからでも、本学図書館にどんな資料があるか簡単に知ることができます。

図書館利用の第一歩は、目録を調べることです。

* 約85万冊の蔵書の中味は？

「蔵書」といっても、図書だけでなく雑誌や新聞、ビデオやCDなどの視聴覚資料、マイクロフィルム、CD-ROMなど、多種多様な形態をとっています。

最近では「電子ジャーナル」といって、インターネット上で雑誌を読むこともできるようになりましたが、さらに本学ではどんな電子ジャーナルが契約されているのかも、まもなくオンライン目録で調べることができるようになります。

これらの資料の内容は、人文科学(哲学、歴史、宗教、芸術、語学、文学など)や社会科学(政治学、法律学、経済学、社会学など)、自然科学(数学、物理学、化学、天文学、医学など)など、あらゆる分野を網羅しています。

また、日本語、中国語、韓国・朝鮮語、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、ポーランド語、インドネシア語など、書かれた言語もさまざまです。

これらの資料は、2・3階の開架閲覧室や地下1・2

階の書庫、1階の視聴覚コーナーなどにそれぞれ配架されています。参考図書や指定図書のように、資料の内容により配架場所が決まっているものもあります。

どんなときに役にたつ？

レポート・論文を書くための参考資料を探しているとき、留学や旅行先の情報を調べたいとき、就職活動中に希望する会社の資料を収集したいとき、芸術や文学作品に触れたいときなど、一言でいえば、なにかを読みたい・知りたい・求めたいと思ったときに、あなたが必要とする資料や情報を、85万件の多種多様な分野・形態・言語の資料群のなかからすばやく的確に探し出すのが、EZ-CATの役割です。

オンライン目録の使い方は、とてもかんたん！

必要な資料のタイトル、著者名、出版社などの一部分がわかっている場合は、これらの項目の組み合わせによって探すことができます。

必要な資料の分野・テーマがわかっている場合も同様に分類・件名などから探すことができます。

新入生は授業のなかで、2～4回生にはゼミ・ガイダンスのなかで、検索方法の実習を行なっています。

オンライン目録の使い方がわからないときは、気軽にカウンターの職員に声をかけてください。

☛ こんなに早く入るようになります！

～ 購入希望図書 ～

学生用購入希望図書の納品が早くなります

発注から納品までに時間がかかり、大変ご迷惑をかけていましたが、このたび最短では3日、最大でも2週間で、入ってくるようになりました。詳しくは次のとおりです。どうぞご利用ください。

購入決定した学生用購入希望図書は、まず、丸善河原町店の在庫を確認し、あれば3日ほどで図書館に届きます。

店頭在庫のないものは、取次店の在庫を確認し、あれば一週間以内で図書館へ。

さらにはない場合、出版社へ。この場合は2週間が目安です。

購入した図書はすべて、きれいにカバーがかけられて届きます。

図書館ホールでは、利用のない時間帯に、BBCの衛星放送を放映しています。自由に入室できますので、英語のヒヤリング練習にもご利用ください。

すべてはメイン

カウンターから！

開館 平日 午前8時30分～午後8時

土曜 午前8時30分～午後4時30分

授業休業日 午前8時45分～午後4時30分

日曜・祝日は午前9時30分～午後5時

(試験前と試験期間中のみ開館)

詳しくはライブラリーカレンダーをどうぞ。

(ホームページからもご覧ください)

貸出：借りたい図書と学生証をメインカウンターに出して下さい。

普通図書は10冊・2週間、

指定図書は3冊・1週間、

就職・資格試験関係図書は3冊・2週間、

論文貸出は10冊・1か月(申込みには担当教員の押印が必要)

返却：借りていた図書を期限内にメインカウンターに返して下さい。

予約：利用したい図書が貸出中の時は、予約できません。

再貸出：期限内に読み終えることができなかったときは、再貸出を申し込むことができます。すでに他の人の予約が入っている時は、再貸出できません。

施設の利用申込み：グループ学習室・研究個室・地下書庫入庫の申込みは学生証が必要です。メインカウンターへどうぞ。

グループ学習室：4人～8人で2時間以内

研究個室：1人で2時間以内

レファレンス・サービス：わからないことは何でも気軽に2階・3階のレファレンスカウンターでたずねて下さい。たとえば、参考図書・CD-ROM・オンライン目録の利用法や文献所在調査など。

相互利用サービス：必要な資料が本学図書館にない場合は、それを所蔵している他の大学図書館に直接行って閲覧・コピーをさせてもらう コピーを取り寄せる 図書を借りるなどができます。申込みは、メインカウンターで。

図書館資料の複写(コピー)：コピーをするときは、コピーカード(館内で発売)が必要です。図書館資料をコピーするときは、著作権法31条を守って下さい。

発行所・京都産業大学図書館
〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
(075)705-1470